

2021年10月 | 第67号

響 KOE

Himeji Central Hospital
地域連携だより



リハビリ用ウェアにルコック・スポルティフウェアを採用・取材を受けました。

回復期リハビリテーション病棟の入院患者様用に、ルコック・スポルティフウェアを、ニットシャツとジャケット、パンツのトータルコーディネートで採用いたしました。

入院セットのオプションとしてレンタルでき、毎日、ウェアを取り替えて、気持ちよくリハビリを送ることができます。

入院セットは、患者様の洗濯物の引取りや着替えの準備といった、ご家族様の負担軽減も考慮されており、安心して利用できるとご好評です。



リハビリ用ウェアとして毎日違う色を着用することも、ご自分では選ばない明るい色にチャレンジしてもらうことも、心のリハビリになると思い、今回採用に至りました。

ニットシャツは全5色を採用。患者様は毎朝、看護スタッフから「今日は何色にしますか？」とコミュニケーションをとりながら、さまざまなカラーを着用されています。

【ルコック社の取材について】

リハビリ用ウェアとしてルコック・スポルティフウェアを採用したことは全国的にも例がないため、当院で採用に至った経緯や使用感などをルコック社の広報担当から取材を受けました。

(※写真は当院リハビリスタッフが着用し、取材を受けた当時のものです)



新任医師 紹介

整形外科

ましま やすし
眞島 靖



専門領域 外傷、一般整形外科、
ALSアプローチによる股関節治療

所属学会 日本整形外科学会

趣味・特技 酒肴づくり(玄米ご飯、イカスミパスタ)

着任にあたっての抱負 地域の方々のお役に立てるよう努力して
まいりたいと存じます。

トピックス



令和3年7月、当院本館1階受付横と、健診センター待合に山崎法枝氏より寄贈いただいた絵画を展示しました。

山崎氏は、1988年姫路市の生涯学習大学校で日本画を学び始め、90年代以降兵庫県展や姫路市展などで入賞、95年には新進画家の登竜門・日春展に初入選されました。

これまでの作品には、播磨地域への深い愛着がにじむ風情豊かな表現がされています。また「ぐるっと360度姫路城」と題した絵地図は、角度によって姿の変わる城を一周しながら眺めてもらうようにと願って丹精込めて描かれています。姫路中央病院附属クリニック1Fには以前から山崎氏の絵画を展示させて頂いてご縁から新たな作品を寄贈していただきました。病院1Fに展示しました「城」と題された絵画は、姫路城の白い城壁に桜が咲く頃の風情を表現しています。この絵画によって来院される皆さんの心が癒されることと思います。

山崎氏の主要作品や絵地図は美術情報サイト「ギャラリーガイドネット」

(<http://www.art-express.co.jp>)
で公開しておられます。

姫路中央病院

ホームページ

<https://www.hc-hosp.or.jp/>

